端野高野道路の現場見学会に参加しました

北海道横断自動車道網走線（一般国道39号）端野高野道路の現場見学会が、沿線の2市2町の職員を対象に開催され、総勢62名が参加し、各市町で進む工事の状況について理解を深めました。
この度の見学会を契機として、早期事業完了に向けて、現在実施している要望活動の取り組みをより一層進めてまいります。

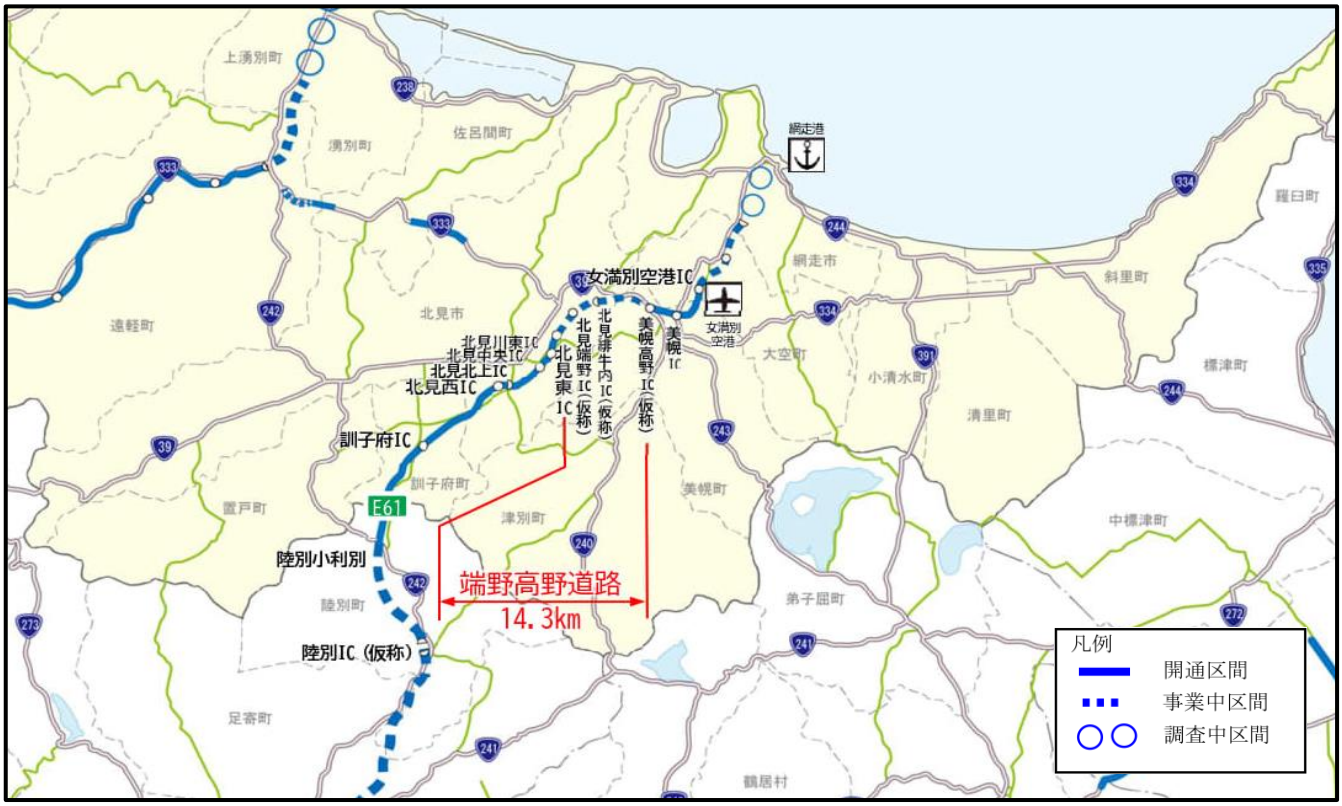
見学会の概要

本見学会は、北海道開発局網走開発建設部北見道路事務所の主催により、沿線の2市2町（北見市、網走市、大空町、美幌町）の職員向けに開催されました。

美幌町は町長、副町長を含む８名が参加しました。

事業の進捗

平成31年度より北見東ICから美幌高野IC（仮称）までの14.3kmの事業が始まり、事業開始から8年目を迎えています。



１４.３km
事業区間
（北見東IC～美幌高野IC（仮称））

約７４％
用地進捗率

約２８％
事業進捗率

※ 進捗率はR8.3.31時点です。

見学会の内容

今回の見学会では、町内5か所を含む北見東ICまでの14現場を巡りました。各市町で進められている工事の状況や事業への理解を深める良い機会となりました。



高野東改良工事現場に集まる参加者



現場説明を受ける参加者



高野中央橋下部工（美幌→至緋牛内方向）



高野中央橋下部工（美幌→至緋牛内方向）



高野中央橋下部工（緋牛内→至美幌方向）



高野中央橋下部工（緋牛内→至美幌方向）

事業への期待

北海道横断自動車道網走線は、北海道特有の各市町への移動距離が長く、冬季には降雪による危険な路面が生じる地域でも、災害に強い道路ネットワークを構築する役割を担っています。医療・物流・観光面での効率向上も期待されています。

端野高野道路の整備後は、美幌町から北見赤十字病院までの医療搬送において、重症患者の搬送中の負担軽減や早期治療につながり、大切な命を守る道となります。